

## 高齢者虐待発見 簡易チェックリスト

虐待が疑われる場合の「サイン」として、以下のものがあります。複数の項目にあてはまると、疑いの可能性はより濃くなってきます。これはあくまでも例示ですので、この他にも様々な「サイン」があることを認識してください。

チェック欄	サイン例
	身体に不自然なあざや傷、火傷の跡が頻繁にみられる
	痣や傷があるのに、理由を聞いてもはっきりしない
	家から怒鳴り声や鳴き声が聞こえたり、大きな物音がする
	わずかなことにおびえやすい
	「怖いから家にいたくない」等と訴える
	暴力を受けている、怒鳴られる、年金を取られるなど訴えている
	介護が必要なのに、サービスを利用している様子がない
	高齢者を訪ねると家族に嫌がられる、会わせてもらえない
	家の周囲にゴミが放置されたり、異臭がしたり非衛生的である
	他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる
	雨の日、暑い日や寒い日なのに高齢者が長時間外にいる
	高齢者の服が汚れていたり、お風呂に入っている様子がない
	部屋に衣類やオムツが散乱していて、寝具や衣類も汚れたままになっている
	いつも空腹を訴え、痩せてきている
	病気の症状があるにもかかわらず、病院に通院していない（通院させようとしなない）
	昼間でも雨戸が閉まっている
	新聞や郵便物がたまっている
	物事や自分の周囲に関して、極度に無関心になる
	何を言っても「いいよ、いいよ」と遠慮し、あきらめの態度が見られる
	家族が介護でとても疲れていたり、高齢者の悪口を言ったりする
	排泄の失敗を嘲笑いしたり、人前で話し恥をかかせたりする
	高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする
	侮辱を込めて子どものように扱う
	経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者対してお金をかけようとしなない
	見知らぬ人やいろいろな業者が出入りし、困っているようだ